

最初的记忆

日汉对照

さいしょのきおく

上海译文出版社



最初的记忆

藤田芳树

きいしのおきおく

上西淳吉画 藤田



日 汉 对 照

最初的记忆

〔日〕 德永 直 著

朱金和 译注

上海译文出版社

本书《最初的记忆》原文选自《日本雨の文庫・現代日本文学昭和戦前編》第5集16。其余两篇选自改造社《現代日本文学全集第62編プロレタリア文学集》

日 汉 对 照

最 初 的 记 忆

〔日〕德永直 著

朱金和 译注

上海译文出版社出版

上海延安中路955弄14号

新华书店上海发行所发行

上海市印刷四厂印刷

开本787×960 1/32 印张4.5 字数71,000

1984年1月第1版 1984年1月第1次印刷

印数：00,001—12,500册

书号·9188·217 定价：(六)0.38元

出版说明

德永直(1899—1958)，日本无产阶级文学的著名作家，生于九州熊本县花园村。由于家庭贫困，他未念完小学就去印刷厂当徒工，以后又当过发电厂工人、米店伙计等。他曾参加过几次罢工，并积极从事日本无产阶级文学运动。主要作品有：《没有太阳的街》、《静静的群山》、《妻啊！安息吧！》，以及《马》、《最初的记忆》等。

本书收录作者的三个短篇。《最初的记忆》是作者的中期作品，由《筷子》和《马》两个小故事组成，记述了作者幼年时期家庭的贫困生活，生动地塑造了“母亲”这个劳动人民的典型形象，着重强调了“劳动”的伟大意义。其余两个短篇皆是作者的早期作品。《多余的人》描绘了阿兵在贫困生活的重压下，由顽童变成一个愚昧青年的悲惨情景；《明星剧照丢弃记》展现了印刷厂女工阿澄觉醒的过程。

作者尽管只有小学文化程度，但刻苦努力，并有着丰富的劳动生活经历和斗争体验，所以他的小说能反映当时的时代脉搏，读来逼真动人。作者对动作的描写细腻入微，并能利用“对话”这

个手法，来烘托人物的性格。

作者因出身于九州，作品中九州方言时有出现。对这些方言基本上都作了注释。

目 录

最初的记忆..... 3

多余的人.....63

明星剧照丢弃记..... 105

さいしょ きおく 最初の記憶

一

わたし ななさい しょうがっこう はい
私は七才で小学校に入ったが、その頃はもう
いっぱしの竹細工 職人であった。

わたしりょうしん い つ ころ たけさいく ないしよく はじ
私の両親が何時頃から竹細工の内職を始めた
かは覚えてないが、私達の部落（熊本市¹外）では
それが一つの名産になっていた。部落の貧しい
ひやくしやう でんち か ろく うしな きゆうあしがるざむらい
百姓や、田地も家禄も失った旧足輕 侍²などが
やったもので、私の両親も私が記憶するように
なっているのは畑地の二三反歩³ばかりを小作し
ているに過ぎなかった⁴。

みなみきゆうしゆうとくゆう しゆうい しゃくし ご すん おお
南九州特有の周囲尺四、五寸もある⁵大き
な孟宗竹⁶を截った、竹柄杓や竹箸や、注文に応
じては花入れ、筆壺なども作るが、主としては
たけばし たけひ しゃく おも ぶ かつこう
竹箸、竹柄杓で、重くて不恰好ではあるが、二

1.〔熊本市〕熊本是九州中部的一个县，熊本市则是熊本县县政府所在地。 2.〔旧足輕侍〕江戸时代最下级的武士，又名“杂兵”。 3.〔反歩〕计算面积的单位。一反等于300步，一步约等于3.3平方米。 4.〔…に過ぎなかった〕惯用型“…に過ぎない”的过去式，接体言或用言连体形后，意为：“不过…”。△これは私の希望にすぎない/这不过是我的希望。

最初的记忆

一

我七岁进小学念书，那时就已经算得上一个够格的竹匠了。

我也记不得，父母是什么时候开始干起竹匠这活儿的。这本是村里穷苦农民以及丧失了田地和俸禄的旧下级武士从事的一项副业，不过现已成为咱们村（熊本市郊）的一项传统工艺了。我开始懂事的那会儿，双亲不过是一个租种二、三反地的佃农。

村里人利用南九州特有的一种圆周约一尺四、五寸的粗孟宗竹，制作一些竹勺和竹筷，有时还根据客户的要求定做竹花瓶或竹笔筒。不过主要是削制竹筷和竹勺。尽管竹勺比较笨重，式样难看，但比起铅勺或铁勺来价格要便宜得多，而

5.〔…もある〕数词+“もある”，表示强调数词，可译为“…之多”、“…之大”等。△一万人もある選手がきのうのマラソン大会に参加した/有一万余名运动员参加了昨天的马拉松比赛。

6.〔孟宗竹〕一种粗壮高大的竹子，原产于中国南方，又名“江南竹”。

ユー・ムやブリキの柄杓ひしやくよりも低廉ていれん じようよで丈夫うるしぬだし¹、
漆塗りの箸はしよりも惜しいおき気がなくて²、殆んど
九州一円きゅうしゅういちえん はんろに販路があった。

家の軒下いゑ のきしたに箆むしろを敷いて、母、姉、私はは あね わたしと三人が、
いつも坐すわって竹箸たけばしを削けずっていた。竹は子たけ こを孕はらみ
そだつ三月さんがつから筍たけのこが独りひとだちする六月ろくがつごろ頃までが
一等級いつとうせい性がわるいので、その他の時期ほか じ きはこの内職ないしよく
がずっとつづいた。

「まあ、うまいもんだね。一寸ちよつときてごらんなさ
いよ。」

村道むらみち めんに面している私達わたしたちの仕事場し ごとばに、田圃たんぼなど
へ朝露踏あさつゆふみにいった町まちの女おんなや旦那だんなたちが、何か
めずらしいものをみつけたように立ち寄た ちよって
は、頭あたまの上うへに無遠慮むえんりよにたちはだかるのであつ
た³。

「何だ、何だ、フム、うまいもんだな、おまえ
いったい幾歳いくつなんだい？」

犬いぬを引ひ張ばった旦那だんななどが、私わたしにそう訊きいた
りした。私わたしが一等幼いつとうおきな きようみいので興味があるのであろ
う。私わたしはいつも返辞へんじしたことはなかったが、母
が傍そばからいうのであつた。

「七歳ななさいですよ旦那だんな、ことしから学校がっこうへあがります。
す。」

母ははが笑顔え がおで返辞へんじするのには、いづらか自慢じ まんも

且牢固耐用。竹篾价格低廉，也就不必象漆篾那样爱惜地使用，所以几乎畅销于整个九州一带。

母亲、姐姐和我三人总是坐在屋檐下铺着的席子上削竹篾。竹子三月开始出笋，六月基本成熟。这期间的竹子质量最差。所以这项副业除了这三个月外就没有停歇的日子了。

“哎呀！真棒啊！你过来瞧瞧！”

城里的太太和老爷们踏着朝露到农田来散步时，仿佛发现了什么稀奇东西，弯到我们面朝村路的作场，毫无顾忌地堵在我们面前。

“什么？什么？嗯！真棒！你到底几岁啦？”
牵着一只狗的老爷这样问我。大概是我年龄最小，才对我感兴趣吧！逢人问起年龄，我从不回答，总是由母亲在一旁介绍说：

“七岁啦！老爷，今年就要上学了……”

母亲笑容满面地回答，显得有点得意。

1.〔し〕连接助词。接终止形后，表示并列或因由。△電話もかけられないし、手紙も出せないし、本当に困った。/既不能打电话，又不能写信，真为难。 2.〔惜しい気がなくて〕不想爱惜。△でかける気がない/不打算出去。 3.〔村道に…のであった〕“村道に…たちはだかる”主语是“女や旦那たちが”，它发生两个动作：①“立ち寄っては”，②“たちはだかる”。

あ^はた^かが、他^{した}に^{ところ}下^は心^{した}があ^はった。そ^はして母^はの下^{した}心^{ところ}
は^{せい}たい^{こう}てい^む成^{えん}功^りし^よて、無^{けん}遠^ぶ慮^つな見^さ物^さ人^やた^きち^やが囁^{ささ}
き^あ合^あう^あの^あで^あある。

「買^かってゆ^ゆき^きま^まし^しょう^うよ。」

「竹^{たけ}箸^{ばし}を^し? 仕^し様^{よう}が^がない^{ない}じ^じゃ^やない^{ない}か。」

「だ^{おも}って^{しろ}面^め白^{はく}い^いじ^じゃ^やない^{ない}の^の。¹」

旦^だ那^な達^{たち}は竹^{たけ}箸^{ばし}な^など使^{つか}わ^わない^{ない}の^のだ^だと私^わも知^しっ^して^て
い^いる^るの^ので、ひ^ひど^どく^く侮^お辱^ろさ^される^る気^きが^がし^した^た。² し^しか^かし^し
母^はが^がい^いつ^つも^もそ^そこ^こで^で言^いう^うの^ので^である。

「特^{とく}別^{べつ}上^{じやう}等^{とう}の^のも出^で来^きま^ます。」

す^{けん}と^ぶ見^つ物^ぶ人^{にん}は^き訊^きく。

「特^{とく}別^{べつ}上^{じやう}等^{とう}は^はい^いく^くら^ら?」

「十^{じゅう}五^ご人^{にん}分^{ぶん}で一^{いつ}銭^{せん}五^ご厘^{りん}で^でご^ござ^ざい^いま^ます。」

「そ^その^の子^こに^に作^{つく}れる^るの^の?」

「ハ^はイ、じ^じゃ^やす^すぐ^く作^{つく}っ^てお^おめ^めに^にか^かけ^けま^ます。」

母^はは^は私^わに^に眼^めく^くば^ばせ^せし^して、竹^{たけ}の^のい^いい^いと^とこ^ころ^ろを^を十^{じゅう}
五^ご人^{にん}分^{ぶん}だ^だけ^け鉋^なで^で割^わっ^てく^くれ^れる。私^わは^はナ^なイ^いフ^ふを^を一^{いち}
寸^つ砥^と石^{いし}に^にあ^あわ^わし^して^てか^から、念^{ねん}を^をい^いれ^れて^てけ^けず^ずり^り始^はめ^め
る。熟^{じゆ}練^{くれん}し^して^てい^いる^る私^わに^にと^とつ^つて^てそ^それ^れは^はた^たわ^わい^いな^な
い^いこ^こと^とで^であ^ある^るが、た^ただ^だ人^{ひと}だ^だか^かり^りし^して^て見^みて^てい^いら^られ^れ
る^るの^のが^が恥^はず^ずか^かし^しく^く口^く惜^やしい。母^はに^に叱^{しか}ら^られる^るの^ので^で
黙^だま^まっ^てつ^つく^く作^おり^わは^はす^する^るが、終^おる^わと^とナ^なイ^いフ^ふを^をも^もっ^て家^{いえ}

1. (じゃないの) 等于“ではないの”。“の”在这里表示有

其实，她另有企图。而且这种企图往往都能如愿以偿。这些毫无顾忌的围观者听了以后互相窃窃私语起来。

“买点去吧！”

“竹筷？有什么用！”

“很好玩呀！”

我也知道这些老爷们是不用竹筷的，所以仿佛感到蒙受了很大的侮辱。不过每当此时母亲总是这样说：

“还会做特等的哩。”于是，围观者问道：

“特等的多少钱？”

“十五双一分五厘。”

“这孩子会做？”

“哎，那就马上做给各位瞧瞧。”

母亲向我使了一个眼色，同时用竹刀为我劈了够做十五双筷子的好竹料。我把小刀在磨刀石上磨了一下，然后精心地削起竹筷来。对于我这个熟练工来说，这种活儿轻而易举。只是这么多人在一旁围观，我实在感到羞耻和难受。因为怕挨母亲叱责，只好默默地制作。刚一削好，我就

根据的疑问或推定。△君も行くの/你也去？ 2. (気がした)词组。意为“(说话人)感到”，多半与“ような”结合使用。△風邪を引いたような気がします。/我觉得好象感冒了。 3. (念をいれて) 仔细，用心。

なか に と
の中へ逃げ込んだ。

「芸は身を助くるてちいう。世の中に覚えてお
いて損なものはなかばい¹。」

学校にゆくようになって、友達から「竹箸作
り」とからかわれるのがイヤで、家へ帰ってから
「箸作り」を拒むと、母がそういうのであった。
母の「芸」とは「技」のことであるが、母は貧乏人
だからそんな諺をいうのだと私は思っていた。
部落では竹細工職人も沢山いたからまだよか
ったが、各村から集まってくる学校では、特殊
部落あつかいにされるのであった。

「冗らんことばいうてひねくれとらんと、さっ
さと仕事ばせい²。働いて喰うに誰に遠慮が要る
もんか。」

母は最後には顔を真っ赤にして嘔鳴った。私
も拗ねてみる³が結局は働かねばならんことを
知っていた。問屋から注文でも⁴あったりする、
母は多く赤ん坊や他の同胞たちのことで手をと
られ勝ち⁵で、私と姉とがその中心であったから
である。枕大の木片を台として、柄のついた「切

1. [芸は…なかばい] 方言。等于“芸は身を助けるとい
う。世の中に覚えておいて損なものはないだろう”。 2.
[冗らん…仕事ばせい] 方言。等于“冗らないことをいってひね
くれないでさっさと仕事をしなさい”。 3. […てみる] 朴

拿着小刀逃进屋里。

“俗话说：‘一艺在身，吃穿不愁。’学会一种手艺，在这世上是不会吃亏的。”

自从上学以后，我很讨厌被同学嘲笑为“竹篾匠”，回到家里拒绝干这种活的时候，母亲就这样对我说。母亲所说的“艺”实际上指的是“技能”。我想正因为母亲是个穷人，所以才会说这句谚语。村里人多半是竹匠，反正彼此彼此，还不甚要紧。可是在那所学生来自各村学校里，我就被视作一个特殊村落来的人了。

“说什么蠢话！别那么古怪，快点干活！干活吃饭，有啥难为情的。”

母亲到最后涨红着脸大声怒斥。我也清楚，即便闹闹别扭，到头来还得要干。每当批发店来订货，母亲常常为照顾婴儿和其他几个弟妹而抽不出空来，因此活儿主要落在我和姐姐身上。用一块枕头大的木块当垫板，手拿一把带柄的宽刃

助动词。接动词连用形+て(或で)后，意为“试试看”。△自信がないが一寸やってみる/虽然没有把握，但我做做看。 4.

(でも)副助词。接体言、副词或助词后，表示例举某项推知其他。△散歩でもしょうか/散散步(或看电影)吧！ 5.〔勝ち〕接尾词。接动词、助动词连用形后，表示往往有某种倾向。

相当于“往往”、“容易”。△冬になると、体のよわい中村さんは風をひきがちです/一到冬天，身体单薄的中村常常感冒。

出しナイフ」¹で一本一本削ってゆく。母が竹を
割^わり、私^{わたし}が握^{にぎ}る方^{ほう}を削^{けず}り、それを姉^{あね}が追^おっかけ
追^おっかけて、食^たべる方^{ほう}を削^{けず}る。学校^{がっこう}へゆくまえ、
ひけてから晩^{ばん}までつづけることもあった。

姉^{あね}は私^{わたし}より三歳^{みつ}年^{とし}上^{うえ}で、よく学校^{がっこう}も休^{やす}んで²箸^{はし}
を削^{けず}っていた。ちぢれた赤^{あか}っ毛^け頭^{あたま}と肩^{かた}とを台^{だい}の
上^{うへ}におっつけるようにして削^{けず}っていたが、私^{わたし}よ
りも背^せが小^{ちい}さかったのも、き^のつとそ^{わたし}んなせ^{おも}い³で
伸^のびられ^{わたし}ないのだと私^{わたし}は思^{おも}っていた、ナイフ
の背^せを押^おしている右^{みぎ}掌^ての親^{おや}指^{ゆび}の頭^{あたま}が凹^{くぼ}んでしま
い、箸^{はし}を支^{ささ}えている左^{ひだり}掌^ての人^{ひと}差^{さし}指^{ゆび}の関^{かん}節^{せつ}がヒリ
ヒリ痛^{いた}む。

最^{さい}初^{しよ}のう^ち、ナイフがてんでい^うこ^とをきか
なかつた⁴。竹^{たけ}肌^{はだ}の上^{うへ}を跳^はねあ^がるかと思^{おも}え^ば⁵、
こ^とん^ど止^{とど}め度^{なめく}なく斜^はに喰^てい^こん^だ。母^{はは}に手^てをと
つて教^{おし}え^られ^ても、自^じ分^{ぶん}の意^い志^しとナイフとは別^{べつ}
別^{べつ}に生^いきていた⁶。

「この不^ぶ器^き用^{よう}も^んが、そ^ての^{たた}手^きば叩^{たた}き切^きってくれ
る⁷。」

鉈^{なた}を振^ふりあ^げると、母^{はは}は台^{だい}の上^{うへ}をた^{たた}きつ^け
た。真^{しん}実^{じつ}に叩^{たた}き切^きりはしなかつたが、私^{わたし}は怖^{こわ}
く^は裸^{だし}足^こで戸^か外^{がい}へとび出^だした。

右^{みぎ}手^ての親^{おや}指^{ゆび}の頭^{あたま}がナイフの形^{かたち}なり⁸に裂^さけて
血^ちが出^でた。次^{つぎ}には左^{ひだり}掌^ての人^{ひと}差^{さし}指^{ゆび}が皮^{かわ}が破^{やぶ}れて赤^{あか}

小刀，一根一根地削个没完。母亲劈竹，我削筷柄，姐姐赶着削筷尖。有时上学前要削一会儿，放学回来，一直要干到晚上。

姐姐比我大三岁，常常旷课削竹筷。她削筷时总把长着红髻发的脑袋和肩头紧贴在垫板上。我想，姐姐之所以比我还矮小，肯定是因为这个姿势影响了她的发育吧！长时间使劲摁着刀背的右手大拇指头都凹陷了下去，左手食指一直拿着竹筷，致使食指关节处针刺般疼痛。

起初，小刀压根儿不听使唤，一会儿在竹子上打滑，一会儿又切斜了。即便母亲把着手教，小刀还是不听使唤。

“你这个笨蛋！砍掉你这只手。”

母亲举起劈竹刀，砍在垫板上。尽管不是真的砍，我却吓得光着脚丫就往外逃。

右手大拇指头留下一道小刀柄的痕迹，已经裂开出血。左手食指上的皮也已脱落，露出鲜红

-
1. (切出しナイフ) 一种宽刃小刀。 2. (学校も休んで) 不去上学。 3. (せい) 表示原因。 4. (ナイフが…きかなかった) 小刀根本不听使唤。 5. (かと思えば) 惯用型。表示“忽而…忽而…”。△近頃の気温は上がるかと思えばさがる/最近气温忽升忽降。 6. (母に…生きていた) 直译为“即便让母亲把着手教，自己的手和小刀把各行其事”。 7. (その手ば…くれる) 等于“その手を叩ききってやる”。 8. (なり) 接尾词。接体言后，表示形状、样态。△三日月なりに/月牙儿似地。